

学校運営計画		評価		
学校運営方針	たくましい身体と高い知性・道徳性を育成し、国家及び社会の進展に寄与しうる創造性豊かな資質を養う。志をもって意欲的に学び、自立心と思いやりの心を持つ、健康な生徒の育成に努める。			
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
国公立大学への合格者が在籍数の18.2%、私立大学は73.7%と昨年度は低下したが、国公立大学推薦入学の合格者は増え、100%の就職内定率を達成した。経済状況が厳しい折、私立大学志望者は減り、就職希望が増えるなど、希望進路は多様化している。また部活動では全国大会へ3名が出場するなど、運動面で優れた成果がみられた。クラス数の減少で、学校行事が小規模になり、進取の機運が低下する心配もあるが、むしろ、逆に個々の生徒へのきめ細かな学習・生活指導や進路指導に心がけ、同行連帯の伝統を受け継ぎながら、豊かな個性と知徳体のバランスとれた全人的な成長を促す教育に努める。	教科指導、生徒指導、進路指導、部活動など全教育活動に、高い目標を掲げ、前年度を上回る実績を目指す。	国公立大学および四年制大学への進学を希望する多くの生徒、保護者の要望、地域の期待に応え、高い学力到達度を達成する指導体制、授業実践力の工夫改善を図る。		
	伝統を継承する一方で、謙虚に見直す姿勢を大切にする。諸課題の克服・改善を図りながら、新たな学校像を検討し、学校の特色化を図る。	生徒数の減少を生かし、きめ細かな指導に努める。学校行事の精選、心身のバランスのとれた生徒の育成を図る教育活動の創造を図る。	生徒数の減少を生かし、きめ細かな指導に努める。学校行事の精選、心身のバランスのとれた生徒の育成を図る教育活動の創造を図る。	
	生徒の志を高め、学力の伸長に努め、希望進路実現に努める。そのためにも生徒自らが成長を実感できる学校作りを行い、生徒を大事にする学校にする。	道徳的な教育に心がけ、志を高める指導、学力や技能の定着を生徒自ら確認していく指導を図る。	道徳的な教育に心がけ、志を高める指導、学力や技能の定着を生徒自ら確認していく指導を図る。	
	優しさに裏付けられた厳しい教育姿勢を堅持し、全教育活動に明るく、楽しく、チームワーク（協働）で当たっていく。	規範意識を高め、部活動を通じた人間教育を図る。部活動の活性化により、九州大会や全国大会出場を目標とする。	規範意識を高め、部活動を通じた人間教育を図る。部活動の活性化により、九州大会や全国大会出場を目標とする。	
評価項目	具体的方策	評価（3月）	次年度の主な課題	
学習指導	指導内容等の共有化を図り、教科指導力を高める	シラバスの内容を検討し、活用に向けて、教科会議を年2回行う。		
	自ら計画を立てて取り組む自発的な学習を定着させる。	遅刻欠席を昨年より減らし、欠点者を減らす。 家庭学習の平均時間の目標を1年生は2.0時間、2年生は2.8時間、3年生は3.4時間とする。 予習ノートの検査や予習・復習のためのプリントを各教科で取り組み、自学自習の習慣をつけさせる		
	学習内容の定着を図る。	毎週、各教科ごとに、確認テストを行う。 週1日以上、放課後10分間英単語テストを実施する。		
生徒指導	挨拶、返事、後始末の指導を徹底し、モラル・マナー向上を図る。	年間を通じて、午前7時から早朝挨拶指導を行う。 清掃ボランティアを年2回以上実施し、延べ200人以上の生徒が参加する。 駅や福祉施設へのボランティア活動に約100名の生徒が参加する。		
	規範意識の向上を図る。	自転車による大きな事故をなくし、怪我を昨年より5割減らす。 いじめ行為を根絶し、校則違反による特別指導をなくす。		
	部活動を活性化する。	3部以上の部活動が九州大会、全国大会に出場する。 部活動中の事故をなくし、怪我を昨年より5割減らす。また初期対応を万全に行い、保護者への連絡を密に行う。		
進路指導	個々の生徒の進路希望を実現する。	国公立大学合格者を在籍数の27%以上、私立大学を80%以上とする。 国公立大学の推薦入試において、30名以上合格させる。 100%の就職内定率を達成する。		
	進路意識の向上と実践力の養成を目指す。	学習の記録を改善し、8割以上の生徒が毎日継続する。 進路講演会、小論文講演会、大学体験模擬授業、保護者向け進路説明会において、参加者アンケートを行い、8割が満足する内容とする。 総合的な学習の時間やホームルームを活用した進路学習に、キャリア教育の視点を取り入れる。		
	各教員の自己評価において、道徳教育を指導の観点に加える。 各学校行事の実施目的の中に、道徳的な目標を加える。 各教科の年間学習指導計画の中に、道徳教育を指導の観点に加える。			
保健	心身の健康増進を図る。	新型インフルエンザなど感染症予防の指導を通じ、感染者を減らす。 麻疹、風疹の予防接種について、3年生の受診率を9割以上とする。		
	教育環境の美化に努める。	美化委員会を活性化し、校舎内外の美化のアイデアコンクールを実施する。 生徒の環境評価アンケートを行い、ゴミの放置、分別の評価を3割高める。		
研修	教員の資質向上に向け、職員研修に積極的に取り組む。	人権教育、マナー教育、いじめや特別支援教育の研修を年1回以上行う。 教育センター等の指導を受け、地域に公開した研究授業を3教科以上行う。 教育センターや体育研究所の専門研修に3名以上が参加する。		
	文化発表会、ボランティア活動、体育大会、文化講演会などの学校行事を、保護者や地域の方々へ積極的に広報する。			
図書	生徒の主体的・意欲的な読書活動を支援する。	読書時間の設定、朗読会や読書会の実施。読書感想文で5名以上が入賞する。 読書マラソンに100名以上が参加する。 新聞スクラップの活用、レファレンスサービスを充実させ小論文対策や調べ学習に役立つ資料を提供する。		
	教科指導を通じた人権教育を推進するとともに、特設授業の内容を充実させる。 生徒の就学・修学支援、進路保障を積極的に行い、希望する進路の実現に努める。 人権意識向上のために、校外研修に積極的に参加し、校内研修を充実させる。			